

私は沖縄病院で呼吸器外科専門医として診療を行っております平良と言います。一般の方にとって、呼吸器外科専門医というのは聞き慣れないことと思います。呼吸器外科というのは肺・気管支など呼吸器疾患の外科的治療に取り組む科です。呼吸器外科のなかで最も重要な疾患は肺がんで、数年前より男性の肺がんによる死亡率は胃がんを越えて第1位となりました。現在1年間に7万人ほどの方が呼吸器の疾患で手術治療を受けられています。

呼吸器疾患の患者さんは増加の一途を辿っておりますが、その中で呼吸器疾患の外科治療を専門とする医師は、不足しているのが現状です。

具体的には厚生労働省の2014年の調査を見てみると、日本の医師の数はおよそ30万人います。その中で外科医は、およそ1万5千人しかおらず、その中で呼吸器外科医の人数は1,700人ほどしかいません。沖縄県で言えば呼吸器外科医はおよそ10名程度でしかいません。さらに30名の医師はその中で数名です。

この様な呼吸器外科ですが、大学医学部を卒業すれば専門医を名乗れる訳ではありません。

どの様な過程を経て医師が呼吸器外科専門医となるかという、

まず大学医学部を卒業し医師免許の試験に合格すると、2年間研修医として研修を行ないます。この研修期間中は、1つの科だけではなく内科や外科などを中心に様々な科で短期間の研修を行います。この2年間の研修を終えた時に、それぞれの医師は自分が専門としたい科を学ぶため、希望する科を中心とした研修を数年間かけ行います。

外科の場合で言いますと、呼吸器外科を専門としたいからといって、すぐに呼吸器外科の研修を行うことはできません。まずは心臓やお腹の外科を含め、外科医として必要な基礎の研修を数年以上かけ行い、定められた試験に合格する必要があります。そして、その後をやっと呼吸器外科を専門とする研修を更に数年以上かけて行い、最

試験に合格し呼吸器外科専門医となるのです。

沖縄の呼吸器外科医の半数以上は当院に在籍しており、専門性の高い呼吸器外科治療を日々行なっています。

もし、これを聞いてくださっている方で、呼吸器の外科治療に悩んでいる患者さんがいらっしゃったら、当病院に一度来てください。